

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

愛媛県内において、1月8日時点で報告された新型コロナウイルスの感染者は607人となり、感染者の発生が続いています。県民の皆様には、引き続き『マスクの着用』『3密の回避』『手洗い・消毒』などの感染症対策を心がけてください。また、年末年始に忘年会に参加した方や、普段接しない方との会食をした方、感染拡大地域を訪れた方など、感染リスクの高い行動をした方は、特に注意しましょう。発熱等の症状がある場合、あらかじめ、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター(099-909-3483)」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』



発生動向の概況

今回の報告期間は、医療機関、学校等の年末年始の休暇を含んでいます。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第52週0.7人から第53週0.3人と減少しましたが、この疾患は冬季に増加する傾向がありますので、感染予防のため、外出後のうがいや手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第52週3.1人から第53週1.5人と減少しました。調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)、手袋、マスクを着用しましょう。

つつが虫病の届出が1例(松山市保健所管内在住)ありました。この疾患の主な症状は、発熱、刺し口、発疹で、病原体を保有するツツガムシ(ダニの一種)に刺されることで感染します。ツツガムシのふ化の時期(10月から12月)に感染のリスクが高まりますので、野山や畑、草むらなどに入る場合は、肌が露出しない服装(長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋等の着用)を心がけ、ダニに効果のある防虫スプレー(ディート含有)を使用するなど咬まれないよう十分注意しましょう。また、野山等での作業後は入浴し、付着したダニを洗い流しましょう。咬まれていた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科等)で処置してもらいましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二類感染症 : 結核 4例
- 四類感染症 : つつが虫病 1例(60歳代男性)
- 五類感染症 : 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例(10歳未満男性)
梅毒 2例(30歳代男性、40歳代男性、2020年県内累計60例)
- 指定感染症 : 新型コロナウイルス感染症 118例

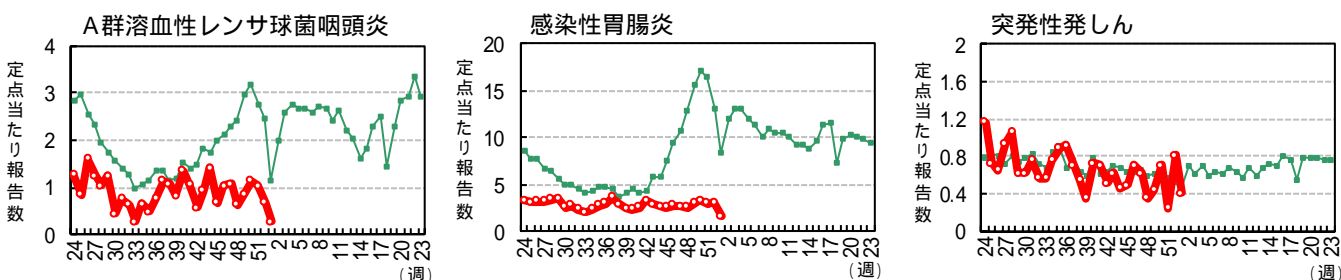
定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.3	減少。
感染性胃腸炎	1.5	減少。宇和島保健所で増加。
突発性発疹	0.4	減少。

解析評価委員のコメントから

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] 少ないですが、西条市で少しみられます。
[中予] 先週の半分ですが、日数に比例してみられます。
- 感染性胃腸炎 : [東予] 多くないですが、西条市ではみられます。重症は少ないです。 [中予] 先週の半分ですが、日数に比例してみられます。 [南予] 前週に比べて明らかに増加傾向です。
- 突発性発疹 : [東予] みられています。 [中予] 横ばいです。 [南予] 少数発生で推移しています。

過去30週の動向 (赤線: 過去30週の動向、緑線: 過去10年の平均)

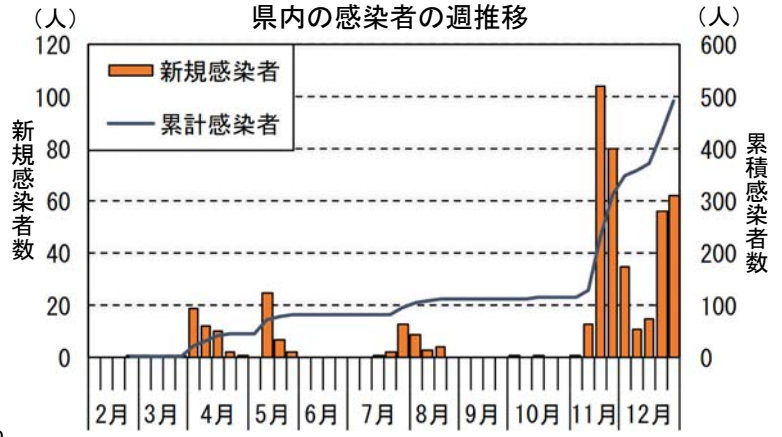
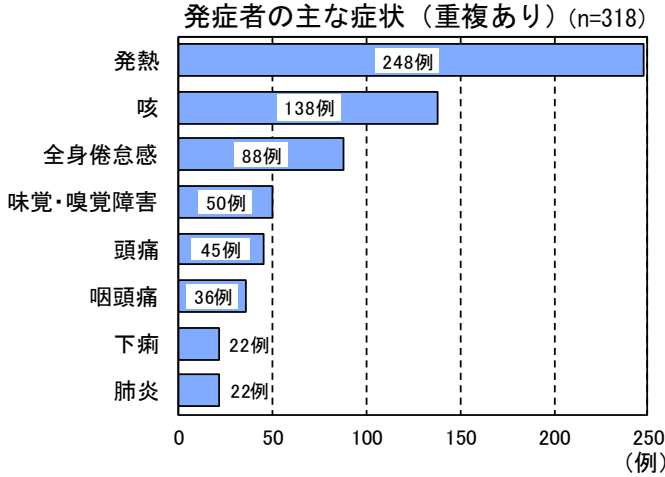


(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

- 愛媛県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況 -

令和3年1月7日現在

1月3日（2020年第53週）までに報告された新型コロナウイルスの感染者は493人で、そのうち届出時点での発症者は318例（65%）、無症状病原体保有者は175例（35%）でした。発症者の主な症状は、発熱248例（78%）、咳138例（43%）、全身倦怠感88例（28%）、味覚・嗅覚障害50例（16%）、頭痛45例（14%）、咽頭痛36例（11%）、下痢22例（7%）、肺炎22例（7%）で、呼吸器症状以外の症状も多くみられています。



病原体検出情報

令和3年1月5日現在

- 2020年の第50週と第51週に松山市で採取されたヘルパンギーナ患者検体からコクサッキーウイルスA4型が2例検出されました。

■ 過去5週 検出病原体

(2020年11月30日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
50	12/7~12/13	松山市	ヘルパンギーナ	コクサッキーA4	咽頭ぬぐい液	1
51	12/14~12/20	松山市	ヘルパンギーナ	コクサッキーA4	咽頭ぬぐい液	1

■ 月別病原体検出結果

検出病原体		検体採取月						合計
		7	8	9	10	11	12	
ウイルス	コクサッキーA4			1			2	3
	コクサッキーA10			1	1	1		3
	ライノ		1					1
ウイルス計			1	2	1	1	2	7
細菌	サルモネラO7				1			1
	A群溶レン菌	1	1			1		3
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌		1					1
細菌計		1	2		1	1		5

■ 臨床診断別検出結果 (2020年10月以降採取検体)

検出病原体	A群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	合計
コクサッキーA4			2	2
コクサッキーA10			2	2
ウイルス計			4	4
サルモネラO7		1		1
A群溶レン菌	1			1
細菌計	1	1		2

注) 表中の検出数は1月5日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2020年 第52週 (2020.12.21 ~ 12.27)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点									
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		インフルエンザ(入院)		
患者報告数																									
保健所別	四国中央						10		1		3				-	-									四国中央
	西条					9	32	2	2		10	4				2									西条
	今治				2	4	3		2		6					5									今治
	松山市				4	10	51	4			4	2	1					-	-	-	-	-	-	-	松山市
	中予					2	5				4	1							1						中予
週推移	八幡浜						10				2					1								八幡浜	
	宇和島						3				1	6												宇和島	
	愛媛県				6	25	114	8	3		30	13	1		8			1						愛媛県	
	1週前	1			14	38	111	12	3		9	11	3		8				1					1週前	
2週前				7	42	123	12	1		26	19	5		8							1			2週前	
3週前				1	31	110	12	2		16	8	2		9										3週前	
年齢別	0-5ヶ月						1																	0	
	6-11ヶ月						8				9													1-4	
	1				3	1	13		1		19	5												5-9	
	2				2	2	6				1	4												10-14	
	3					3	8	1	1		1	2												15-19	
	4					3	11	1				1												20-24	
	5					1	9	1					1	1										25-29	
	6				1	2	6	1																30-34	
	7					2	6																	35-39	
	8					3	9	1	1										1					40-44	
	9					3	8																	45-49	
	10-14					3	20	3																50-54	
	15-19						1									2								55-59	
	20-29 ⁵⁾					2	8									1								60-64	
30-39																								65-69	
40-49																								70-	
50-59																									
60-69																									
70-79 ⁶⁾															1										
80-																									

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-			3.3	.3		1.0					-	-									四国中央
	西条	-	-		1.5	5.3	.3	.3	1.7	.7					2.0									西条
	今治	-	-	.4	.8	.6	.4		1.2						5.0									今治
	松山市	-	-	.4	.9	4.6	.4		.4	.2	.1							-	-	-	-	-	-	松山市
	中予	-	-		.5	1.3			1.0	.3								1.0						中予
愛媛県	八幡浜	-	-			2.5			.5					1.0										八幡浜
	宇和島	-	-			.8			.3	1.5														宇和島
愛媛県	-	-	.2	.7	3.1	.2	.1	.8	.4	.0				1.0			.2						愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は1月5日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2020年 第51、52週 (2020.12.14 ~ 12.27)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
愛媛県	.0		.4	1.0	3.0	.3	.1		.2	.3	.1		1.0					
近畿圏	香川県	.0	.3	.5	2.3	.1	.4		.3	1.3	.1							
	徳島県	.2	.2	.2	2.0	.1	.1		.8	1.3								
	高知県		.3	.6	1.0	.3	.6	.1	.3	1.1	.0							
	全国	.0	.1	.3	.8	2.9	.2	.1	.0	.4	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
51週	北海道	.0	.4	1.4	.7	.2	.0		.2		.0		.1				.1	
	東北	.0	.1	.3	1.1	3.0	.2	.0	.0	.4	.0	.0	.1		.1	.0	.0	
	関東	.0	.0	.2	.6	2.4	.2	.0	.0	.4	.0	.1	.3			.0	.0	.0
	甲信越北陸	.0	.0	.4	1.0	2.6	.2	.0	.0	.4	.1	.0	.0	.1	.0	.0	.0	
	東海	.0	.0	.3	.6	1.7	.2	.0	.0	.3	.0	.0	.1		.1	.1	.1	
	近畿	.0	.0	.3	.6	2.0	.2	.0	.0	.3	.1	.0	.1	.0	.0	.0	.0	
	中国四国	.0	.0	.3	.8	2.1	.2	.4	.0	.4	.4	.0	.3			.0	.0	
	九州沖縄	.0	.8	.5	1.3	8.0	.2	.4	.0	.5	.1	.1	.3	.0		.0	.0	

(12.23集計)

愛媛県			.2	.7	3.1	.2	.1		.8	.4	.0		1.0		.2			
近畿圏	香川県		.4	.4	2.7	.2	.7		.4	1.1	.1		.4					
	徳島県		.1	.4	3.0	.1	.1		.3	1.0	.0						.1	
	高知県		.1	.2	1.0	.1	.5	.0	.1	.6	.0		.3		.1		.1	
52週	全国	.0	.1	.3	.8	3.2	.2	.1	.0	.4	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
	北海道	.0	.0	.3	1.1	.6	.3	.0	.0	.2	.0	.0	.2					
	東北	.0	.1	.3	1.1	3.2	.3	.0		.4	.0	.0	.2				.0	
	関東	.0	.0	.2	.6	2.3	.2	.0	.0	.4	.0	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸	.0		.5	1.2	2.8	.2	.0	.0	.3	.1	.0	.0	.0	.0	.0	.1	
	東海	.0	.0	.2	.5	1.9	.1	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.0		.0	.1	
	近畿	.0	.0	.3	.6	2.3	.2	.0	.0	.3	.1	.0	.1		.0	.0	.0	
	中国四国	.0	.0	.2	.7	2.5	.2	.3	.0	.4	.4	.0	.0	.3	.0	.1	.0	.1
九州沖縄	.0	.9	.6	1.3	9.1	.2	.3	.0	.5	.0	.0	.3		.0		.0		

(1.5集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

